



長照寺だより

わげんあいご 和顔愛語

浄土真宗本願寺派(西本願寺) 摂取山 長照寺 静岡県三島市徳倉1195-817 電話055-988-4242
URL <http://cyoshoji.or.jp> E-mail: info@cyoshoji.or.jp



西念寺(稲田の草庵跡)にて

門信徒会親睦研修旅行(親鸞聖人ゆかりの地を訪ねて)

平成26年10月5日～7日 北関東方面

「僧侶は、他の人々までも教え導くことができるのに、自分自身を
教え導くことができないでいるのは、情ないことである。」

(蓮如上人御一代記聞書より)

親鸞聖人関東伝道八〇〇年記念
門信徒会親睦研修旅行(親鸞聖人ゆかりの地を訪ねて)に参加して

平成二十六年十月五日〜七日 於・北関東方面



長照寺仏教壮年会々長 齋藤 善治

親鸞聖人は、承元の法難により越後の国府に流罪となりました。

やがて罪を許された親鸞聖人は妻子とともに関東を目指し、新しい世界を発見しようとする旅に出て行きました。そして建保二年(一二二四年)常陸国(茨城県)に入り、

小島や稲田に住まわれたのです。

それから八〇〇年になりますので聖人ゆかりの地として小島の



小島の草庵にて

草庵跡と稲田の西念寺を訪ねお参りしました。

親鸞聖人は、稲田の西念寺を中心にして熱心に伝道活動を展開し、瞬く間に関東一円から奥州の南部まで念仏の教えが広がって行きます。各地に門徒の集団が結集されていきますが、その地域に根付いていた伝統的仏教教団にも大きな影響を与え抵抗勢力から命を狙われそうになる事件も起きました。

有名な「板敷山の法難」に遭遇しましたが難をのがれました。その時の首謀者山伏弁円は事件後、親鸞の弟子となつて活躍したそうです。弁円さんゆかりのお



上官寺本堂にて

寺、上官寺・大覚寺にもお参りをしてきました。

本拠地となつた西念寺からは、美しい筑波山が見えますが、京都の比叡山を連想させるような地形であり、親鸞聖人は此の地で二〇年の歳月を過ごしたそうです。

この稲田から今回の旅の宿泊地である大洗に行く途中の水戸に徳川ミュージアムがあり、水戸徳川家や水戸藩の宝物類

を見学
しまし
た。テ
レビで
お馴染
みの水
戸黄門
様の印
籠も見
ました。



大覚寺にて

この旅行では、参加者同士が親しく話
をして友達になるよう夕食時に自己紹介
ならぬ他己紹介をいたしました。これに
より、お互いがより身近な関係になつて
翌日の旅がより楽しくなっていきました。
最終日は、群馬県まで足を延ばし、昨
年世界遺産に登録された富岡製糸場を見
学しました。富岡は、元々養蚕が盛んな
土地で、生糸の原料である繭を飼う農家
が多く存在しておったとのこと、また用
水や燃料の確保など立地条件が揃ってい

たよう
です。

工場入
口の頭上
には「明
治五年」

のプレートがはつきりと見え、江戸時代
が終わって間もない明治の初めに既にこ
のようなレンガ造りの大きな工場が操業
開始したのかと驚きました。蚕から糸を
取り出す操糸器には約三〇〇人の工女さ
んたちが立ち向かって仕事をしていたそ
うです。

その機械
が今も
残ってい
るので
す。機械
の動力源
は、蒸気
エンジン



懇親会にて



西念寺本堂にて

だったそうですが、電気の普及と共に電
気モーターに代わっていきました。

製糸工場というと女工哀史の歴史を想
い出しますが、この工場で働いていた女
性は士族の娘さんたちであり、この工場
で伝習を終えたひとたちは、器械製糸の
指導者として全国に散り、製糸産業を広
める役割を果たしたそうです。

技術基盤が未だ出来ていない時代で、
外国人技術者に教えを乞いながら工場を
建設し、産業を興した人たちの苦労と心
意気を強く感じました。

三日間の研修旅行は、鎌倉時代から江
戸時代そし
て明治時代
へと続く歴
史上のエ
ポックをた
どる旅であ
りました。

合掌



富岡製糸場にて

活動報告

平成二十六年下期

門信徒会親睦研修旅行

平成二十六年十月五日～七日

…北関東方面

親鸞聖人が関東の地へ伝道をされ八〇〇年を迎え、

北関東にある聖人ゆかりの地を訪ねながら、世界遺産の富岡製糸場の観光等盛りだくさんの研修旅行でした。

※写真は表紙・②・③ページに掲載

第四十回門信徒会親睦ゴルフコンペ

平成二十六年十月二十三日

…三島カントリークラブ

優勝 近藤 勝信さん

準優勝 服部 正司さん

第3位 三枝 礼子さん



シンポジウム「ご縁」

平成二十六年十一月二日

…横浜・新都市ホール

新たなご縁づくりに向けてをテーマに、宮崎哲弥氏の講演、パネルディスカッションを拝聴してきました。

くわ入れ式

平成二十六年十一月十五日

藤江家

仏教では起工に感謝するお参りです。

※一般的には地鎮祭。でも地震は起きますよね…



報恩講

平成二十六年十一月十六日

…一五〇余名

ご講師「園淵 龍雨 師」

浄土真宗の門信徒として最も大切なご法要です。親鸞聖人のご遺徳を偲び、生きる「力」をいただきます。



境内清掃作業

平成二十六年十二月七日

…長照寺境内（一〇〇余名）

新しい年を迎えるにあたり、感謝・感謝。



除夜会 平成二十六年十二月三十一日

…長照寺本堂・梵鐘（百十余名）

百八ツばかりの煩惱ではないことを知り、これからは少しずつ出していきましょう。



修正会・新年会

平成二十七年一月四日

…四十名

心新たに出発。今年こそはと毎年思っている自分がいた。



ご正忌報恩講

平成二十七年

一月十三日～十四日

京都・西本願寺（本山）

深々と冷える京都

ご本山（西本願寺）

参拝。身が引き締ま

りました。



飛雲閣にて



平等院（観光）にて

第三十五回東京教区仏教壮年会連盟 結成記念日研修会

平成二十七年二月十四～十五日…群馬県（磯部）

先輩方々を敬いながら、若い者とも共生きの強化団体です。 ※写真は7ページに掲載

春季彼岸会法要

平成二十七年三月二十一日・一五〇余名

ご講師

「本持 愚山 住職」



つきじー泊（わんぱく）子ども会

（東京教区少年連盟主催）

平成二十七年三月三十～三十一日 …築地本願寺

仏様のおはなし・ゲーム・

日本科学未来館の見学等、

盛りだくさんの内容を楽

しんできました。

※写真は8ページにも掲載



今後の活動予定

平成27年

4月 5日(日)	祝入園・入学慶讃法要 釈尊降誕・花まつり	本堂
4月 10日～12日	末広和顔会展 (門信徒会作品発表会)	TMOホール (三島商工会議所内)
4月 24日(金)	門信徒会親睦ゴルフコンペ	新沼津 カントリークラブ
4月 26日(日)	門信徒会親睦ボウリング大会	ジョイランドボウル みしま
5月 2日(土)	門信徒会定期総会	本堂
7月 26日(日)	境内清掃作業・親睦懇親会	境内
7月 29日～31日	お寺の林間学校 (南ブロック門徒子弟研修会)	御殿場市
8月 13日～15日	合同盆法要 (全8回)	本堂
9月 23日(水・祝)	秋季彼岸会法要	本堂
9月 26日(土)	門信徒のつどい (静岡東組)	長照寺
10月 11日	寺報 (第34号) 発行	

※各行事は、予定ですので、その都度、寺から案内を送付します。
 ※定例法座は第3土曜日、午後1時より本堂にて開催。
 ※その他に親睦の集いを募集・計画中。

(日頃の忙しさから解放されて
 気持ちが軽くなる自分を発見
 できるかもしれません。)

「第2回浄土真宗クイズ」 正解発表

多数の応募、誠にありがとうございました。
 正解は下記のとおりです。

- 問1. ③ 初参式
- 問2. ② 法名
- 問3. ③ お香をつまみ、そのまま香炉へ入れる
- 問4. ② 両手にとおし、軽く親指で押さえる
- 問5. ③ 亡き人を縁に仏さまのみ教えを聞くため
- 問6. ① ごえいどう
- 問7. ① 大谷本廟
- 問8. ② 大阪城
- 問9. ③ 蓮如上人
- 問10. ① 専如さま

墓苑内乗用カート を寄贈いただきました



第三十五回東京教区仏教壮年会連盟結成記念日研修会

平成二十七年二月十四日～十五日 於・群馬県（磯部）



世話人 船坂 廣治

体験したことのない研修会

平成二十七年二月十四日～十五日の二日間研修会に参加しました。

記念公演は心理カウンセラー「富田富士也氏」でした。どのような話をされるのかと興味をもって参加させてもらいましたが、今までの研修会では予め用意したレジメを配布し、順番に話を進めてゆく場合が大半でした。しかし、今回の講演は一人ひとりの近くまで寄ってきて、その人とかかわり合いながら話を進めていき、なおかつ二日目には目の前のテーブルを撤去し、前日以上に大胆に皆のなかに入り込んで、いきなり初対面の人の関わりを要求され、（自分が話し過ぎず、相手の話を過ぎないように程よく会話を続けることを要求される）まさにライブ



的な公演でした。

還る家

カウンセリングと言うと人生相談のイメージが強かったのですが、富田氏は人生相談とカウウセリングは違うものだという。

今、人間関係が希薄化し一人ひとりが孤立し、人とのつながりを実感できないでいる時代背景がある。だから人とのか

かわりを再構築するために、孤立しない人間関係をつくってゆく為の気づきの援助活動だという。

人は、だれしも自分以外の人とかかわって生きている。しかし自分の居場所がないと感じている人がいるとき、心の声、気持ちを「聴く」必要がある。その為には何の条件もつけないで肯定し合える人間関係を築いていくことが必要であるという。富田氏はこの人間関係を「還る家」と呼んでいる。人は、人生のつらさに耐えて生きている。この「還る家」があるから落ち込んででもまた復活できる。そのためにはまず人と「向き合ってこそ」初めの一步が始まるのではないだろうか。

合掌



つきじー泊(わんぱく)子ども会
藤澤 月樹

三月三十日と三月三十一日に、つきじー泊(わんぱく)子ども会へ行きました。どれも楽しかったのですが、中でもいんしよりにのこった物が三つあります。一つはツキジンピックです。ツキジンピックでは、色々なゲームをしました。わたしは、二位でした。一位になりたかったので、くやしかったです。二つ目は、紙ひこーき大会です。わたしは練習では一番でしたが、本番では、三番になってしまいました。やしかったです。

三つ目は、「日本科学未来館」です。未来の世界や、手じゅつをたいけんできる物など、たくさんありました。未来に、本とうにあたらいいなと思う物が、たくさんありました。

また、二日間の中で、一番ゆるしゅうなはんには、さいごにとくべつなぞりの「けは」をもううことができたのですが、そのはんがなんと、「てんしんはん」でした。とてもうれしかったです。

またらい年も行きたいです。



ツキジンピック



紙ひこーき大会



築地本願寺にて



日本科学未来館



朝のお勤め

お寺より「いざという時の心構え」

「明日は我が身と知るべし」近頃、公共の電波を使い終活の内容が放映されています。それを見た皆様は何を思うか。そうです、やはり最後に行き着くところは「費用」なのです。とても悲しいことです。

大切なのは、皆様でご往生の意味を知り、ご自分の命の有り様を感ずることなのです。

物知りのおじさん・おばさんに聞いても正しい答えはかえってきません。しきたり・俗習・風習・に惑わされることなく、なんでもお寺へご相談ください。

「いざという時」がきたならば、葬儀屋さんではなく、まずは「お寺へ」ご一報を!!

編 集 後 記

☆お寺からのお便りは、家族皆さん必ず読んで頂く習慣をつけましょう。

☆お寺は「よろず相談処」です。日頃悩んでいる事がありましたら、何でもご相談ください。

☆次回寺報は、平成27年10月11日(日)発行予定です。

●ご意見・ご要望は、寺務所まで
〒411-0044三島市徳倉1195-817
TEL・FAX 055-988-3900
編集人=長島・菊沢・斎藤・園田